

# 中期経営計画「BEYOND 3000」

ADEKAグループは、2025年のありたい姿『ADEKA VISION 2025』を掲げ、  
“先端技術で明日の価値を創造し豊かに暮らしに貢献するグローバル企業”を目指しています。  
2018年4月に、ありたい姿の実現に向けたセカンドステージとして、中期経営計画「BEYOND 3000」が  
スタートしました。前中期経営計画「STEP 3000-II」で積み上げた成果を礎に、  
売上高3,000億円を超えるグッドカンパニーに向けた取り組みを推進していきます。

## 基本方針

### 「売上高3,000億円を超える グッドカンパニーとなる」

- ADEKA VISION 2025の実現に向けたセカンドステージ
- 現業の伸長で売上高3,000億円を超える3年間  
別途、M&Aを推進する

2018-2020

## 中期経営計画 「BEYOND 3000」

2015-2017

中期経営計画  
「STEP 3000-II  
～グッドカンパニー  
の実現～」

2025

### 『ADEKA VISION 2025』

先端技術で明日の価値を創造し  
豊かに暮らしに貢献する  
グローバル企業

ありたい姿からの視点

### 経営目標(2020年度)

連結売上高	3,000億円超 (オーガニックグロース)
営業利益率	10%
ROE	10%
投融資	1,000億円(3カ年) 内訳：設備投資額500億円(3カ年) M&A資金500億円を 枠として準備(3カ年)
配当	配当性向30%(段階的に 引き上げた最終年度目標) 適切な還元を総合的に勘案

## 基本戦略

### 3本柱の規模拡大

「樹脂添加剤」「化学品」「食品」を事業の3本柱として、事業毎に定める戦略製品の販売をグローバルで拡大する。

### 新規領域への進出

ターゲットとする「ライフサイエンス」「環境」「エネルギー」分野において、ビジネスモデルを構築し、事業化を推進する。

### 経営基盤の強化

CSRを推進し、社会への貢献と社会からの信頼を高める。  
ADEKAグループの相互連携を強化し、総合力を発揮する。

## 5つの施策

### ▶ 経営管理

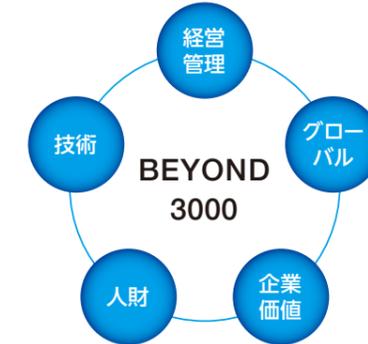
#### グループ経営管理の強化

ADEKAグループ共通の価値観の醸成や、制度、体制等を整備し、グループ経営管理の強化を図る。

### ▶ 技術

#### イノベーションの創出と競争力の強化

社会から求められる製品を永続的に創出していくため、研究開発の強化と新規事業化の推進、および生産技術を深化・継承していく。



### ▶ 人財

#### グローバル人財、リーダー人財の拡充

企業資産である人財への持続的な投資により、グローバル人財・リーダー人財を拡充する。

### ▶ グローバル

#### グローバル化の拡大とローカライゼーションの加速

調達・生産・販売のグローバル展開をさらに拡大させるとともに、海外の各現地法人の成長を加速する。

### ▶ 企業価値

#### CSRを推進し社会とともに発展

CSR推進体制のレベルアップを図り、事業を通じて社会の課題解決に貢献し、当社の持続的成長につなげていく。

## 2015-2017年度中期経営計画「STEP 3000-II」の振り返り

2017年度までの2015-2017中期経営計画「STEP 3000-II」は、『ADEKA VISION 2025の達成に向けた最初の3年間』『売上高3,000億円のグッドカンパニーを実現する期間』として位置づけ、積極的な設備投資を行うなど、さらなる成長に向けた施策を実行しました。

経営目標として掲げた売上高3,000億円、営業利益240億円には未達となりましたが、増収・増益トレンドを継続し、過去最高の売上・利益を3期連続で更新するなど、現中期経営計画に向けて弾みがつく結果となりました。

### ● 業績推移



### ● 経営指標

**目標**  
営業利益率8%  
累計投資額は約700億円(3カ年合計で400億円の設備投資を計画、M&A枠として300億円を準備)

**実績**  
● 営業利益率達成8.9%  
● 累計投資額は約380億円(計画の95%)  
● 株式追加取得によるクラウン(関西圏の食品卸)の連結子会社化、昭和興産(化学品専門商社)の持分法適用会社化を実施した